

1. 犬山市景観計画区域における行為の届出について

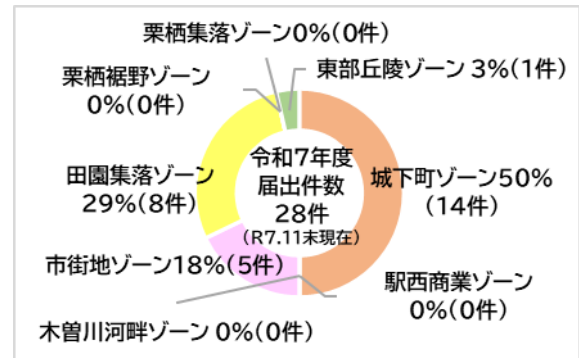
(1) 犬山市景観計画区域について

犬山市では犬山市景観計画において市内全域を「景観計画区域」とし、景観づくりのルールを定めています。届出基準に該当する場合には、「景観計画区域における行為の届出書」を提出する必要があります。

(2) 景観計画区域における行為の届出件数

令和7年度の建築物の届出件数は、令和7年11月末時点で28件であり、その内の50%が犬山城周辺地域の城下町ゾーンでの行為です。

城下町ゾーンは全ての建築物を届出対象としているため、届出件数が多くなっています。



(3) 城下町ゾーンにおける景観づくりのルールへの該当件数

景観計画における行為の届出については、令和5年度より事前協議を行い、ルールに対する配慮・工夫を行うように指導、助言をしています。

件数の多い城下町ゾーンについて、景観づくりの数値基準がある高さと色彩については適合、その他のルールについては配慮・工夫がなされています。



2. 犬山城下町まちなみ便りの配布について

犬山市では城下町のまちなみ景観の保全のため、令和4年度より年2回「犬山城下町まちなみ便り」を発行し、城下町の町内会へ広報と同時に配布しています。

今年度の発行実績 令和7年7月号・令和8年1月号（別紙参照）

3. 歴史的建築物について

(1) 歴史的建築物とは

歴史的建築物とは、「犬山市景観条例」に基づいて、市が、歴史的なまちなみにおける景観を保全するため、「犬山城周辺地域」にある歴史的な様式により建築された建築物（神社、寺院、境界その他これらに類するものを除く。）のうち、特に必要と認め、指定した建築物です。歴史的建築物に指定された建築物は、市と所有者などが連携してその保全に努めることを義務付けています。

また、所有者などは、当該歴史的建築物を除却しようとする際は、除却しようとする1年前までに市に対する届出が義務付けられます。

○歴史的建築物指定数 145件（新規指定 0件・解体届出 0件）（令和7年11月末現在）

(2)歴史的建築物等の所有者に対する意向調査について

・意向調査送付件数 171 件

(歴史的建築物 145 件・歴史的建築物所有者不明 2 件・候補物件 24 件)

・調査期間 令和 7 年 8 月 8 日～令和 7 年 10 月 27 日

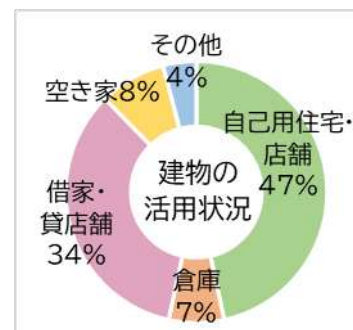
・回答率 42.1%(72 件)

○調査結果

1)建物の活用状況

歴史的建築物の約 80%は「住宅や店舗」として活用されています。

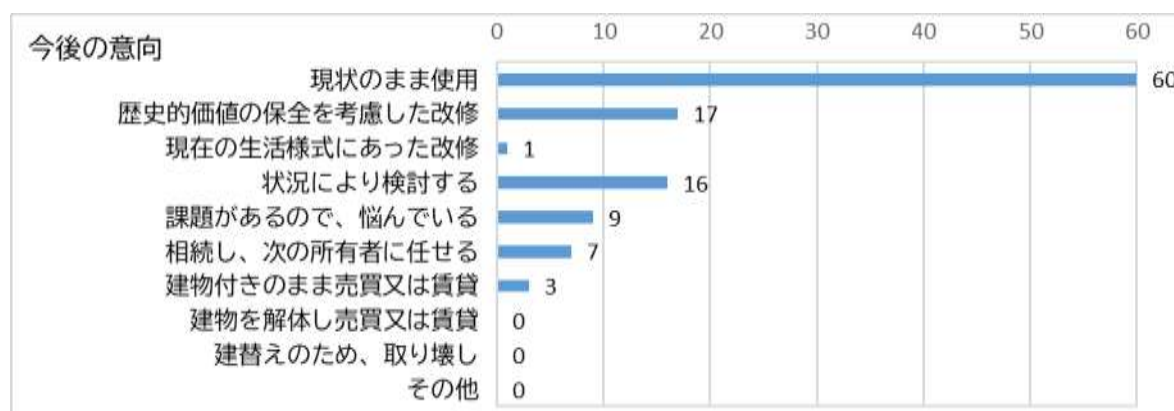
しかし、活用されていない「空き家」が 8%、「倉庫」も 7%となっており、今後の活用に向け、空き家バンクなどの制度を啓発していきます。



2)今後の意向(複数回答)

「現状のまま使用」が 60、「歴史的価値の保全を考慮した改修」が 17 などの回答から、今後も活用に向けた意思を感じられ、今後も景観助成金などの支援をしていきます。

しかし、「状況により検討する」が 16、「課題があるので、悩んでいる」が 9 とあるように、建物の今後について悩んでいる方も多くいるため、無料住宅相談など気軽に相談できる場を継続していきます。



3)具体的な課題

課題があると回答された所有者には訪問し、課題や悩みについて直接伺いました。

課題に応じて無料住宅相談、景観形成助成金、木造住宅無料耐震診断、空き家バンクなどの各種制度について説明をし、改修や売買の際には相談ができることをお伝えしています。

具体的な課題

- ・高齢のため手放したいが、次の購入者が更地にするかもしれない。
- ・耐震基準を満たしていないため、今後も建物を維持しようと思うと費用が掛る。
- ・長屋のため、隣家の意向も確認しながら検討予定だが、何も進んでいない。
- ・家が少しずつかたむいているため、対策が必要だと考えている。
- ・屋根を改修したいが、景観助成金の対象となるのか。

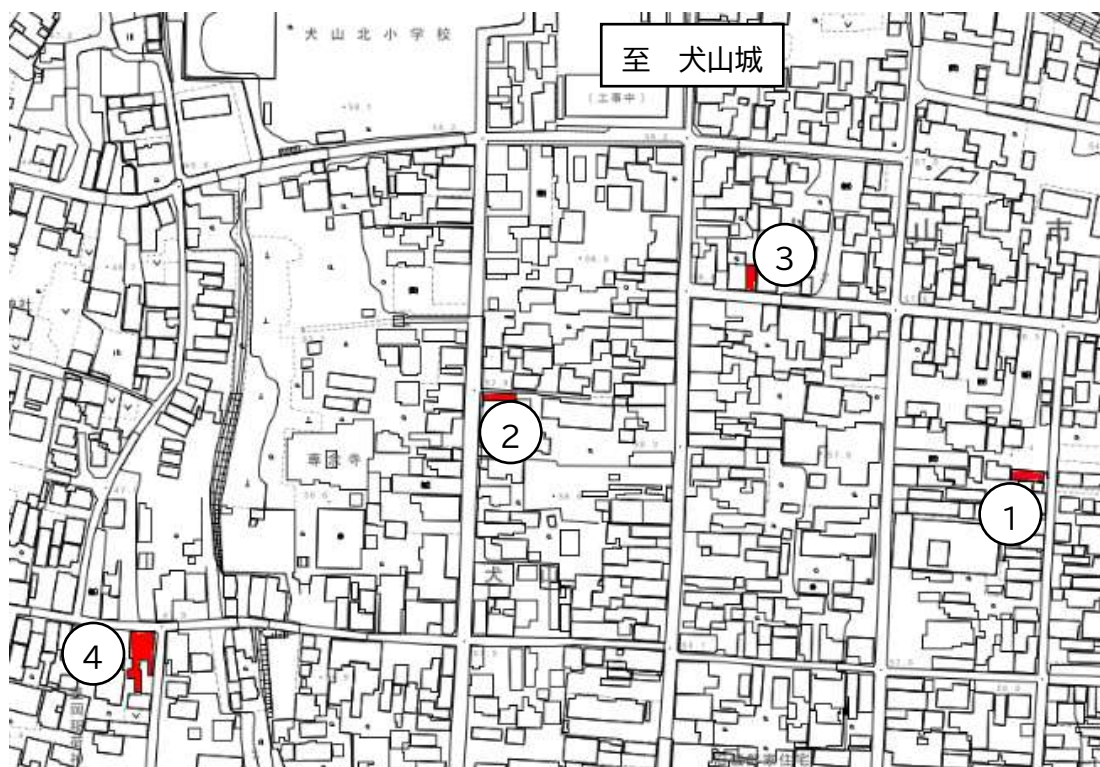
4. 景観形成助成金事業について

(1) 犬山市景観形成助成金について

城下町の良好な景観形成を図るため、町並み景観の維持向上となる建築工事等を行う際に、費用の一部を助成しています。

助成の際には、良好な景観の形成のため景観アドバイザーから助言をいただいています。

(2) 令和 7 年度助成実績



1) 車山蔵(枝町)【景観重要建造物】

所在地: 犬山市大字犬山字東古券

建物: 平成 7 年建築 鉄骨造一部 2 階建て

行為の概要: 東面扉の修繕、外壁塗装、屋根修繕、鉄骨柱脚修繕

修景にかかる工事費: 2,460,000 円 助成額: 1,628,000 円

(助成率)

道路から見える部分の修景にかかる費用 2/3、主要構造部に係る費用 1/3 上限 300 万円



修景前



修景後

2)店舗(上大本町)【歴史的建築物】(工事中)

所在地:犬山市大字犬山字西古券

建物:昭和元年建築 木造 2 階建て

行為の概要:外壁板金貼り、瓦葺き替え、
左官壁の補修、塀の塗装

修景に係る工事費:5,264,498 円

助成額:3,068,000 円

(助成率)

道路から見える部分の修景にかかる費用 2/3、
主要構造部に係る費用 1/3 上限 300 万円
門、塀等周囲の良好な景観形成に必要な行為
1/2 上限 50 万円



修景前

3)住宅(新町)

所在地:犬山市大字犬山字東古券

行為の概要:門の新設

修景に係る工事費:3,016,349 円

助成額:500,000 円

(助成率) 門、塀等周囲の良好な景観形成に必要な行為 1/2 上限 50 万円



新設前



新設後

4)店舗(上中切)【歴史的建築物】(工事中)

所在地:犬山市大字犬山字西古券

建物:明治 26 年建築 木造 2 階建て

行為の概要:屋根瓦の修繕、外壁の修繕、格子の
修繕、格子の修繕、玄関扉の修繕

修景に係る工事費:4,646,965 円

助成額:3,000,000 円

(助成率)

道路から見える部分の修景にかかる費用 2/3、
主要構造部に係る費用 1/3 上限 300 万円



修景前

5. 城下町の屋外広告物に対する活動報告

(1) 城下町における屋外広告物の現状とこれまでの取組

犬山市では令和元年度に、より美しい城下町を目指すための「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」をまとめました。このガイドラインは、地元の店舗事業者や住民とワークショップを行い、地元と市が協働して作成したもので、具体的な屋外広告物に対する「禁止」、「配慮」、「工夫」、「推奨」事項を明示しています。

城下町周辺の各店舗事業者には、ガイドラインを個別に配布するとともに、ガイドラインを参考にした屋外広告物を表示するよう働きかけを行ってきました。

(2) 今年度の活動

1) 屋外広告物現地確認

第1回 令和7年5月24日(土)、第2回 令和7年10月26日(日)

- ・参加者：広告物アドバイザー2名、都市計画課職員4名
- ・現地確認範囲：本町通及びその周辺

城下町の現地確認を行い、広告物を出している店舗へのチラシの配布及びガイドラインの周知を行いました。

アドバイザーによる屋外広告物の現地確認やアドバイスにより、城下町らしい屋外広告物が増えました。また、屋外広告物ガイドラインの普及により、屋外広告物設置前の相談も増えてきています。



現地確認



良い事例となる店舗

広告物アドバイザーについて

市職員と一緒にガイドラインに適合するよう周知・啓発を行うと共に、デザインの専門家の視点より、屋外広告物の改善に向けたアドバイスを行っています。

- ・石井 晴雄 氏(愛知県立芸術大学名誉教授)

犬山城下町屋外広告物ガイドライン作成時から継続して本事業に携わっています。

- ・夏目 知道 氏(愛知県立芸術大学准教授)

令和3年度より広告物アドバイザーとして活動しています。

2)城下町まちなみ便りに記事を掲載

良い事例となる店舗にインタビューを行い、年 2 回発行している「城下町まちなみ便り」にオーナーの想いを交えて紹介する記事を写真付きで分かりやすく掲載することで、改善の促進を図っています。

3)犬山市観光協会事業者説明会での啓発

今年度より観光キャンペーン(春・秋)の説明会で景観形成の啓発、屋外広告物ガイドラインの遵守を指導しています。

〈改善事例〉



令和 3 年 5 月



令和 8 年 1 月



枝町車山蔵（工事前）

景観重要建造物に指定しました！

まちなみ便り

R7.7月号
発行 犬山市

町内会から景観重要建造物の提案をいただいた枝町の犬山祭車山蔵を令和7年5月に景観重要建造物に指定しました。
現在、景観形成助成金を活用した改修工事を行っています。

景観重要建造物とは？

景観重要建造物指定の制度は、地域の良好な景観を形成している建造物を適正に守り育むという観点から設けられたもので、これまでに犬山祭の車山蔵を順次指定しています。

景観重要建造物に指定された建物は景観形成助成金の対象となり、外観に係る改修工事費などの支援を受けることができます。

〈景観重要建造物の指定状況〉

- ① 車山蔵（本町）
- ② 車山蔵（熊野町）
- ③ 車山蔵（魚屋超）
- ④ 車山蔵（新町）
- ⑤ 車山蔵（練屋町）
- ⑥ 車山蔵（枝町）

歴史的な建物の改修には補助金が使えます！

歴史的な建物の改修に使える主な補助金を2種類ご紹介します。

どちらの補助金にも条件や予算の限りがあり、着工予定の前年の6月末には担当の課へ工事の計画についてご相談いただく必要がありますのでご注意ください。詳しくは担当課までお問合せください。

犬山市景観形成助成金

担当課：都市計画課

【対象になる建物等】（※）

- ・景観形成促進地区内の建築物及び工作物
- ・歴史的建築物 など

【対象になる工事】

- ①道路から見える部分の改修で、景観計画で定めるルールに適合するもの
- ②土台や柱などの構造上重要な部材の修繕

【補助金の額】

- ①の工事費の2/3、②の工事費の1/3、
（①と②の合計額の上限は300万円）

犬山市文化財保存事業費補助金

担当課：歴史まちづくり課

【対象になる建物等】（※）

- ・登録有形文化財建造物
- ・歴史的風致形成建造物 など

【対象になる工事】

- ①建物外部（屋根や外壁など）の修繕で、文化財的価値を保存する工事と認められるもの
- ②土台や柱などの構造上重要な部材の修繕

【補助金の額】

- ①と②の合計額の2/3（上限500万円）



◀景観形成促進地区（および景観形成助成金）のHP
ページ番号 1001221



◀文化財保存事業費補助金のHP
ページ番号 1001082

※それぞれの指定状況については各担当課にお問合せください。建物の建築年代や様式などの状態によっては追加の指定ができる場合がありますので、ご相談ください。

今年度も犬山城下町の屋外広告物景観の保全のため、屋外広告物アドバイザーの協力を得て、城下町の現地確認を実施しました。屋外広告物設置の際には「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」をご確認ください。また、屋外広告物の設置をご検討の際は、ぜひ都市計画課までご相談ください。

CHECK!



犬山城下町
屋外広告物
ガイドライン
HP
ページ番号 1005901



R7.5.24

実施しました！

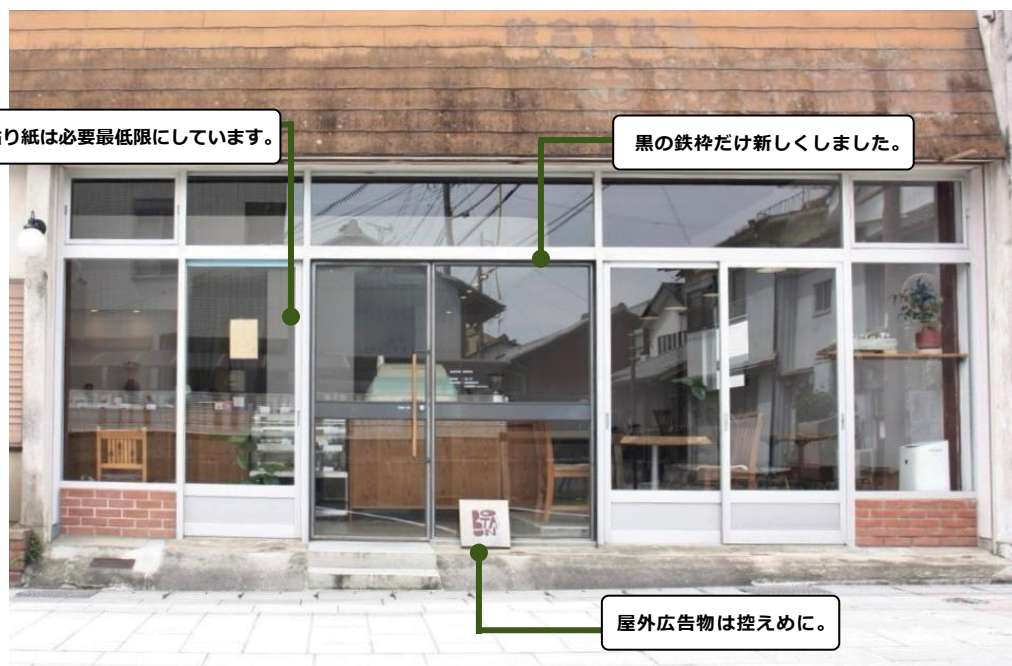
屋外広告物パトロールを

犬山城下町 屋外広告物案内

No.001

引き算の美学

「看板は、下本町にある看板屋 Sunny nap さんに相談しました。最初はガラス戸に大きく店名を入れようと思っていたのですが、無い方がいいんじゃないですかと言われて。」と大前良平さん。「でも、さすがに何もないのはお客さんも困るだろうと思って、控えめな木の看板を置くことにしました。」



北熊野町

珈琲ボタン

「Sunny nap さんも必要最低限の情報を置くだけでいいんじゃないかって。僕たちもそういうのが好きなので。なるべくシンプルにしたいなっていうので、この形に落ち着きました。」

犬山のひとと祭り

「元々お店をやるつもりはなかったんです。」と語る和恵さん。13 年くらい前に犬山が気に入って引っ越しをしてから、犬山の人たちとの様々な素敵なお縁があって、コーヒーの仕事をすることになったそう。「祭りがあるのは大きいと思う。祭りが人を繋げている感じがする。人も温かいし気にかけてくれて、みんなに支えられてきました。」

城下町のこれから

「僕らくらいの若い世代の人にどんどんお店をやってほしい。」と良平さん。「個人事業で新しいお店をやりたいっていう人に集ってもらえたら、町も活気づくし、まちに住んでる人も面白くなる。それに、仲間が増えると僕らも嬉しいので。」

景観重要建造物の改修工事が完了しました！

犬山城下町 まちなみ便り

R8.1月号
発行 犬山市

令和7年5月に景観重要建造物に指定した枝町の犬山祭車山蔵の改修工事が完了しました。改修工事には景観形成助成金を活用しています。

景観形成助成金は対象となる建築物などの、景観計画で定める城下町ゾーンのルールに適合するための改修工事などにも活用することができます。

景観形成助成金を活用したい場合は、お早めに都市計画課へご相談ください。

対象となる建築物など

- ・ 景観重要建造物
- ・ 歴史的建築物
- ・ 景観形成促進地区内の建築物や工作物



◀ 景観形成促進地区
(および景観形成
助成金)のHP
ページ番号 1001221



改修後



改修前

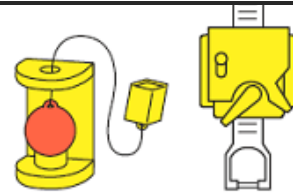
建物の防火対策を見直しましょう！

城下町には歴史的な町家などの古い建物が多いことに加えて、隣家との間隔も狭い場合が多く、適切な防火対策が特に重要となります。一年でもっとも空気が乾燥するこの時期、ご紹介する市の支援策を参考に建物の防火対策の見直しをしましょう！

感震ブレーカー 設置費補助金 (所管：防災交通課)

感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知して電気の流れを自動的に止める装置です。不在時や、ブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

- 補助対象者 市内で自ら所有または居住する住宅に感震ブレーカーを設置した方
- 補助対象製品 一般社団法人日本消防設備安全センターなどの認証を有する製品
- 補助金額 感震ブレーカーの購入と設置にかかる費用の2分の1 (上限1万円)



おもり玉式

パネ式

↑ ホームセンターなどで購入できる簡易タイプもあります (2~4千円程度)

住宅用火災警報器 の取付け支援 (所管：消防本部予防)

原則すべての住宅には住宅用火災警報器の設置が義務化されています。すでに設置された製品についても、正しく作動するか定期的な点検を行い、10年を目安に交換を行いましょう。

- 支援内容 お住まいの住宅に消防職員が無料で住宅用火災警報器の取付け作業を行います。(住宅用火災警報器は申請者でご用意ください。)
- 支援対象 65歳以上の方のみの世帯、身体障害者手帳をお持ちの方のみの世帯、または消防長が自ら取り付けを行うことが困難と認める方



◀ 感震ブレーカー設置費
補助事業のお知らせの
HP
(ページ番号 1005842)



◀ 住宅用火災警報器の
取付け支援のご案内の
HP
(ページ番号 1011245)

■ 補助・支援の内容は下記にお問合せください
防災交通課 (防災担当) : 0568-44-0346
消防本部予防課 (予防担当) : 0568-65-3123

「街歩き」を実施しました！

9/22 に愛知県及び関係市町の屋外広告物行政担当者と愛知県広告美術業協同組合の組合員で「街歩き」を実施し、屋外広告物の現地確認・意見交換等を行いました。広告業界10名、事務局2名、行政職員16名、総勢28名の方々にご参加いただきました。

意見交換では、参加者から様々な意見をいただきましたので、ご紹介します！

のれんや木の看板は城下町の雰囲気にあって良いと思います



情報も A 看板にまとまっています

暖簾と文字の書体が街並みと合っていて素敵です

のぼり旗が多く、歩道に出ているところもありますね



のれんや木の看板に対して、好印象の意見が多く見受けられました。最小限の文字でシンプルな看板も、古い建物を引き立てており印象が良いと感じる方が多いようです。一方で、のぼり旗が多いという意見や、建物に対して文字が大きくなる気になるという意見もありました。

屋外広告物を設置する際は、ガイドラインを確認してみましょう！



犬山城下町
屋外広告物
ガイドライン HP
ページ番号 1005901

「犬山城下町らしさ」をみんなで守っていきましょう！

犬山城下町には、江戸時代の町割り「総構え」が残っており、幕末から昭和初期に建てられた歴史的な趣の残る町家など、当時の面影を残した美しいまちなみが見られます。虫籠窓(むしこまど)、連子格子(れんじごうし)、熨斗面戸(のしめんど)などの意匠を持ち、切妻平入りを基本とした平屋・厨子二階(つしにかい)・バンコ二階・本二階の町家が軒を連ねます。また、軒を船桧造り(せがいつくり)とした風格のある町家が見られるのも特徴の一つです。

■厨子二階(つしにかい)

2階の天井が低く、虫籠窓がある建築物。江戸時代から明治時代に流行った様式で、大名行列を見下ろさないよう2階の天井が低く抑えられていた。

■バンコ二階

2階の天井が低く、表側のみ部屋が造られ、背面は小屋裏で厨子二階から本二階になる中間的な造り。

■本二階(ほんにかい)

軒高を高くし、2階の正面側と背面に部屋を設けた造り。明治末期以降に見られる。

■連子格子(れんじごうし)

窓や扉の一部などに立て並べてはめこんだ木または竹の格子のこと。

旧磯部家住宅



■虫籠窓(むしこまど)

虫籠(むしかご)のように目を細かく組んだ格子をはめた窓。窓枠などを漆喰塗として防火構造にしたもの。

■熨斗面戸(のしめんど)

土居のし瓦の継ぎ目の雨仕舞に漆喰を用い、市松模様に見えるようデザインされたもの。



■船桧造り(せがいつくり)

日本の伝統的な建築様式で、軒などを腕木で持ち出して深く張り出す工法。